

令和2年11月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 : 令和2年11月25日(水) 13時30分から14時20分まで
2. 会場 : 白杵市役所 白杵庁舎1階 大会議室
3. 出席委員 : 教育長 安東 雅幸
教育長職務代理者 神田 岳委
委員 渡辺 義弘
委員 村上 睦美
委員 佐藤 寛倫
4. 出席職員 : 教育次長兼教育総務課長 甲斐 尊
社会教育課長 川辺 宏一郎
文化・文化財課長 後藤 昌二郎
学校給食課長 安東 信二
学校給食課総括課長代理 阿南 哲也
学校教育課課長代理 岩崎 努
文化・文化財課課長代理 東 貴則
社会教育課課長代理 首藤 豊武
教育総務課主査 米木 淳子
教育総務課主任 加藤 由梨花
5. 傍聴人 : 大塚 佳代

1. 開会宣言

(事務局)

開会に先立ち、本日の出席者の報告を行います。本日、欠席者0名で、出席者が過半数に達しましたので、白杵市教育委員会会議規則第3条の規定により本会は成立となりました。以上、報告いたします。

(教育長)

開会に先立ち、ここで事前に皆さんにお諮りいたします。本日の委員会について、1名の方から、会議を傍聴したいという申し出があります。傍聴に関しては、臼杵市教育委員会会議傍聴規則第2条の規定により、どなたでも教育長の許可を受ければ傍聴できることになっています。傍聴は、教育長の許可制ですが、教育委員皆さんの了解があれば許可するということにしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員 許可)

(教育長)

それでは、傍聴を許可することにいたします。

(傍聴者 入場)

(教育長)

これより臼杵市教育委員会、令和2年11月定例会を開催致します。本日の委員会の会期は、本日限りといたします。次に、会議録署名委員に、神田委員と佐藤委員の2名を指名致します。

今回の日程のうち、

① 報告第22号「専決処分の承認を求めることについて」

(教職員(小・中学校)の内申について)

② 第54号議案「令和2年度補正予算(12月定例市議会)について」

以上の2つを非公開としたいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に基づき、採決を行います。賛成の委員は挙手をお願いします。

(委員 挙手あり)

(教育長)

3分の2以上の挙手がありましたので、この2つを非公開とします。

2. 教育長報告

(教育長)

それでは、「2. 教育長報告」をいたします。お配りしている11月の行事予定をご覧ください

ださい。

11月であります。各委員さんにご足労いただき、2日に市教委の学校訪問、第2日目を行いました。4日、市長との意見交換会、昨年度は南中、その前は西中学校で行いましたが、今年は野津中学校に伺いました。野津中学校の1年生が市政についての提案等々を6グループに分かれてしていただきました。市長、市の幹部、私も含めて給食も一緒に食べてこちらに帰ってきました。5日、臼教研の小学校の発表会が市浜小学校、臼杵南小学校でありました。9日、野鳥愛護校の指定証交付式が南野津小学校でありました。野鳥を愛護しましょうという取り組みでありまして、キジを100羽、子供達と一緒に放鳥させていただきました。10日、定例校長会、それから11日が市教委の学校訪問。12日、小児生活習慣病のプロジェクト会議がありまして、第4回の市教委訪問を13日に行いました。17日、市教委訪問、それから18日には、臼杵津久見法人会の方々が税の漫画本を小学校6年生分持って来てくださりまして、翌日の教頭会で配布をさせていただきました。19日は、先日「野津中へ行こう」という取り組みを野津ブロックの小中一体教育で実施していただきましたが、今回、「北中へ行こう」と題し北中ブロック5校の小学校6年生が北中学校に集まって、朝からいろいろな行事をしていただきました。参加できなかったのが残念でしたが、小学生の感想等を寄せていただくと大成功だったという報告を受けています。21日、中学校の文化祭が5校で開催されました。今回は、保護者の参加を見合わせる学校もありましたので、教育委員会としては積極的に行くにご迷惑ということで、委員の皆さん方にもご案内を差し上げませんでした。それから3連休を挟みまして、24日から、小学校の修学旅行1陣が出発しています。昨日の夜、無事に全員ホテルに着いたという報告がありました。今日、1陣が帰校の予定であります。それから、本日、定例の教育委員会、また今週あたりから中学校も別府・大分辺りに修学旅行に出かける予定であります。それから27日、第2回幼保小連携推進委員会を市浜小学校で、幼保小の担当の先生方に集まっていただき研修会をいたします。それから28日、福祉大会であります。教育委員会とは直接関係ないのですが、今回、講師を呼ばずに市浜小学校6年生、それから野津中学校1年生、東中学校の3年生の作文発表をされるということでもあります。市長・副市長の対応であります。私と後藤学校教育課長は作文のところは見に行きたいと思っています。今日、臼杵市のホームページに出していますが、第2回の臼杵っこガイドが、この日の10時から臼杵石仏でガイドを行います。併せて、臼杵磨崖仏の着生生物類除去作業も公開をするようにしています。30日は12月議会が開会いたします。今日、午前中までに質問の通告締め切りであります。以上です。質疑等ありましたら、挙手をお願いします。

(委員 意見なし)

(教育長)

以上で教育長報告を終わります。

3. 協議事項

(教育長)

これより「3. 協議事項」に入ります。

報告第22号に入る前に傍聴者の退場を命じます。

〈傍聴者 退場〉

〈非公開〉

〈傍聴者 入場〉

(教育長)

それでは、第55号議案「臼杵市体育施設条例の一部改正について」社会教育課より説明を求めます。

(社会教育課長)

議案書の3ページをご覧ください。第55号議案、臼杵市体育施設条例の一部改正について説明いたします。臼杵市体育施設条例の一部改正について、議会の議決を必要とするので下記議案を提出することについて臼杵市教育長に対する事務委任規則第1条第9号の規定に基づき議決を求めるものです。理由につきましては、諏訪山体育館の全面改修後のリニューアルオープンに併せ、使用料金を値上げするものです。資料編の1～2ページをご覧ください。新旧対照表を添付しております。体育室の半面550円を660円に値上げいたしまして、全面を880円から1,320円、トレーニング室の110円を150円、ミーティング室の220円を250円にそれぞれ値上げするものです。次の3ページに県内同等規模の施設の料金一覧を添付しております。ほぼ、県内の料金と同等になっております。以上で説明を終わります。ご審議のほどお願いいたします。

(教育長)

料金の改定について説明がありました。料金改定の根拠といたしましては、県内の同等規模の体育館の使用料を調査いたしまして、臼杵市諏訪山体育館の料金表を若干増額をすることとありますが、質疑等ございましたらお願いします。

(委員 意見なし)

(教育長)

それでは第55号議案について、承認してよろしいでしょうか。

(委員 承認)

(教育長)

ありがとうございます。

4. 学力向上について

(教育長)

これより「4. 学力向上」に移りますが、今回、事務局からの報告事項はございません。委員の皆様方より学力向上について何かご意見等ございましたらお願いいたします。

(村上委員)

この前の学校訪問、お疲れ様でした。学校訪問をさせていただいて、先生方がすごく一生懸命、子供達のために頑張ってくれているのがよく分かりました。各学校のサンキューシート、あれがとても分かりやすかったのですが、私は今回、教育委員になって初めて目にしましたので、保護者の方にも参観日の時にシートを配っていただけたら、先生方が一生懸命こう子供に教えてるというのが分かるし、帰ってから子供達に、今日の授業の時にはちゃんと分かったのかというふうに言えるのではないかとというふうに思いました。先生が一生懸命頑張るのですが、子供が理解していなかったり保護者さんがその頑張りを理解してなかったら手を取り合って一緒に子供を盛り立てるといふか頑張らせるというのは難しいのではないかと思います、そういうふうにはサンキューシートを利用するとか、あと、授業参観の仕方・見方みたいなものを保護者の方にも教えてあげたらどうだろうかと思いました。先生だけが幾ら頑張っても、保護者が協力しないと、ちょっと難しいかなというふうに思いました。なので、壁とかにも絵とか習字とか貼ってあるのですが、保護者さんは多分見ても、何々ちゃんが上手、うちの子は下手ぐらいしか思わないので、今までこうやって努力して何時間もかけて書いた絵をお家で褒めてあげてくださいとかいう感じで保護者が子供を褒めるという方法を、教えてあげたらどうかというふうに思いました。それが、子供も自分の自信に繋がって、学力向上に繋がるのではないかと今回の学校訪問で思いました。もう少し、保護者と先生が分かり合って、理解し合って子供を一生懸命褒めたたえるみたいな方向にいったらどうかと思いました。先生方の努力はすごく分かりました。

(教育長)

ありがとうございます。サンキューシートの作成については、ちょっと学校現場にご負担をかける部分がありますので、保護者に授業の中身とかが分かりやすいような方法を、今後、現場と話し合っていきたいなというふうに思っています。ありがとうございました。その他、何かございますか。

(委員 意見なし)

(教育長)

それでは学力向上については終わりたいと思います。

5. 教育予算について

(教育長)

教育予算についてですが、事務局からの報告事項はございません。委員の皆様方で教育予算についてのご意見等がございましたらお聞きしたいと思います。

(佐藤委員)

先ほど、学校訪問の話が出ましたので、予算に関わる話として1つ気になったことなのですが、6月の補正予算で追加になった、スクールサポートスタッフについてですが、学校訪問である校長先生よりスクールサポートが1人いるだけで全然違うというふうに言われたのがとても印象的だったのですが、6月の時点で対象が8校だったと思うのですが、今後、各学校全校に1人ずつ配置するという予定でいいのでしょうか。

(教育長)

これは、国の補助金の関係もありまして、元々スクールサポートスタッフのいる学校が2校あるのですが、6学級以上という限定がありまして、臼杵市はそれに該当するのが8校でありまして、実はそれも募集をかけてもすぐには8校全部が埋まらなかったのですが、先日、最後の学校が決まりまして、これで8校についてはスクールサポートスタッフの配置ができました。予算の関係もありますので、全校ということにはならないのですが、今のところ8校全部の学校の配置ができました。国は来年度に向けても同じような予算を取ると聞いていますので、また取れば来年度も配置をしたいと思っています。

(佐藤委員)

ありがとうございました。

(教育次長)

委員の皆様が無ければ私の方から、いろいろと来年度予算についてご心配もあろうかと思しますので、今現在私が把握している来年度当初予算編成の状況につきまして、市全体の取り組みの状況も踏まえ、その概況をお知らせしたいと思っております。ご承知の通り、今年度は国がコロナウイルス対策ということで、ある意味大盤振る舞いの予算措置をいたしていることはもう周知の事実かと思うのですが、これらの反動が来年、地方の当初予算編成に大きく影響するものというふうに市の財政当局は捉えております。加えて、市の財政の根幹を成す、いわゆる市民税とか、地方公共団体にとって一番大きな財源が普通交付税ですね。これが全体で大体決算ベースで毎年60億程度あるのですが、様々な要因でこの普通交付税は国の方で算定していただくのですが、その大きな柱となる部分が人口です。人口によって普通交付税の額が決まるというのが1つです。全部でそれが決まるという訳ではないのですが、人口の要素が大きな要素になっているのは間違いないです。これは、その人口を具体的に申しますと、5年に1回行われる国勢調査人口に基づいて、普通交付税の額が決まっていくというふうな仕組みになっております。現在、普通交付税の算定の基礎となっている国勢調査人口が38,748人というふうになっております。私が財政課にいた時は、1人に付き、国から10万~15万の普通交付税があるのだから、人口増について真剣に頑張れと言われたのですが、これが、今年度ご承知のとおり国勢調査をやっているとございます。今年度の国勢調査の人口が来年度からの普通交付税に、すぐ反映されることとなります。12月末に国勢調査の速報値が発表されることとなっておりますが、白杵市の財政当局では、一応5年前の国勢調査人口から約3,000人減るというふうに見込んで来年度以降の財政シミュレーションをしているところをございます。3,000人減るということは単純に1人当たり10万といたしますと、約3億の普通交付税が減るということで、そういった関係もございまして非常に来年度当初予算は厳しい状況にあるというふうに既に財政当局から言い渡されておまして、具体的な人件費を中心に削減をするよう要望されております。人件費といいましても、教育委員会で主なものとなるのが会計年度任用職員です。会計年度任用職員は、市全体で約300名おりますが、そのうちの半分以上が教育委員会で雇用しています。その中には、ご承知のとおり学校校務職員や図書館専門員、支援員、複式学級解消職員等がいます。学校訪問等でお気づきの通り、支援員等々が果たす役割は非常に大きなものがありまして、これを削るっていうのがなかなか大変な状況にありますので、非常に頭を抱えているところをございます。加えて、学校訪問等でお気づきの通り、国の学級基準等でぎりぎりのところで頑張ってもらってる多人数の子供達を抱えてですね、先生達の状況も一方で改善しなくてはいけないということで、ビルドすることはいっぱいあるのですが、一方で、どうやってスクラップしようかということで頭をかかえております。その中で何とかちょっと工夫をめぐらせなければと思っております。どこに主眼を置くかで予算の要求が変わってくるのですが、一方で、学校訪問でお気づきのとおり、各学校も老朽化が著しい状況であります。学校施設改善要望も校長から本当に切望されてお

ますが、そういった部分を十分に来年度以降対応できるか、非常に不安をかかえておりました、そんな中での予算編成というふうに来年度は捉えておりますので、前もってでございますが厳しい当初予算編成になることを教育委員の皆様にはあらかじめお知らせをしておきたいというふうに思っております。私からは、教育予算に関しては以上でございます。

(教育長)

ありがとうございました。来年度の当初予算についての方向性、次長から説明していただきました。委員の皆様方には4月からずっと説明をさせていただきましたが、市は教育予算については本当に最大限の配慮をしていただいて、GIGAスクール構想を含めてコロナ対策も万全の体制で予算をつけていただいておりますので、辛抱できるところはしっかり辛抱しながら来年の予算編成に向かっていきたいというふうに思っています。予算について、何かがご意見等ございますか。

(委員 意見なし)

(教育長)

ありがとうございます。

6. その他

(教育長)

それでは、「6. その他」に入ります。「臼杵市ICT教育推進協議会について」学校教育課に説明を求めます。

(学校教育課課長代理)

臼杵市ICT教育推進協議会についてです。資料はA4縦置き資料をご覧ください。タイトルは、令和2年度臼杵市ICT教育推進協議会専門委員会名簿です。これは、令和2年度中に児童生徒1人に対して1台整備される情報機器を活用した教育を推進するために本年10月に臼杵市ICT教育推進協議会を設立いたしました。臼杵市ICT教育推進協議会設置要綱第7条第1項にあります、協議会の事務の具体的な事項について、調査及び検討をするため専門委員会の委員を別紙のとおり決めましたので報告いたします。専門委員会では、活用事例の集約、検討、共有、アプリの使い方の研修、タブレットを活用した授業実践の検討などを想定しております。以上、報告いたします。

(教育長)

はい、いよいよ専門委員会を立ち上げるということで、そのメンバーのご提案でございます。先日、県で第1回目の教育長協議会が開催されたのですが、その時にも発言をさせていただきました。臼杵市も独自で、それぞれのいろんな実践例をこの専門委員会で検討し先生方が使いやすいようにしようと思うのですが、県の方でも是非やってくださいとお願いをさせていただきました。また、文部科学省がかなりICTの活用については動画等も入れて見れるようにしていますので、それらの紹介もこの専門委員さんと一緒になって各学校現場にタブレット端末が配布できたらすぐ使えるような形にしたいというふうに思っています。ICTの支援員が現在1名、福良ヶ丘小学校にいますので、随時そういう方にも入っていただいて、より効果的なICT教育を推進していきたいというふうに思っています。この件につきまして、何かご質問等ございますか。

(委員 意見なし)

(教育長)

以上で、その他を終わりたいと思います。これまでの事や、全体的な事でも構いませんが、何かご意見等ございましたらお願いします。

(委員 意見なし)

(教育長)

それでは、これをもちまして11月の定例教育委員会を閉会いたします。

会議録署名委員

会議録署名委員

会議録作成者
